

内牧小学校4・5・6年

実践報告



内牧小学校のすぐ横には、黒川が流れています。いつも黒川を見ながら成長する子どもたちです。しかし、身近に見ている黒川とふれ合う機会はあまりないのが実態です。

そこで本校では、四年生の総合的な学習の時間に黒川を見つめ直し、「水とくらし」をテーマに課題解決学習を行っております。

例えば、黒川や支流に生息している動植物を観察したり、農業と水路との関わりを調べたりして水の大切さ、動植物の命のゆりかごになつて黒川のこのとを学んでいます。この学習を通して、黒川をはじめ、ふるさとを自然を守りたいという気持ちが高まっています。

そのことがきっかけとなり、五・六年生は黒川の清掃活動をしたり、黒川の水質や黒川を汚す洗剤について自由研究で調べたりしました。また、四年生は、白川わくわくランドを訪ね、黒川と白川が立野で合流している、有明海に注ぐことを知りました。中流・下流域を美しい環境に保つためには、上流に住む自分たちがゴミを捨てたり、水を汚したりしない努力が大切であることに気付くことができました。

黒川や白川という身近な川を通して郷土の自然の大切さを学び、自然や人へ思いやりのある内牧っ子が育っていくことを目指します。

(文責 山下 洋)

白川わくわくランド
ニュース

第28号

発行
●白川流域住民交流センター
(白川わくわくランド)
〒860-0854
熊本市東子飼町8-55
TEL・FAX (096) 346-5454
ホームページアドレス
<http://www.wakuwaku-land.com>
メールアドレス
wakuwaku@wakuwaku-land.com

きれいな水にすむ生きものを表にして実際に黒川の生きもの調べをしました。

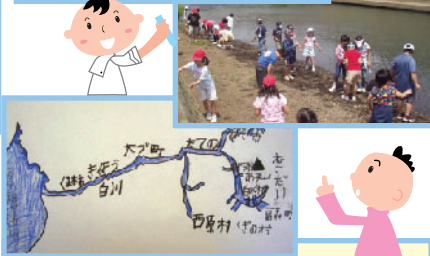


わーい！
サワガニがいたよ。
黒川は、
きれいな川だね！



4年 総合的な学習の時間

黒川に出かけて、生きものや石、水の温度、ゴミなどについて調べました。



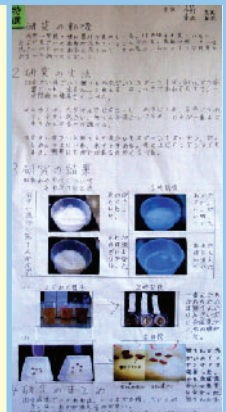
児童感想

白川わくわくランドで、白川が74キロメートルあることや、白川はなんごう谷から、黒川はあそ谷からながれだし、有明海までつながっていることを知りました。

黒川についての自由研究(5・6年生)

黒川に流れていた洗ざいのあわを見たので、洗ざいについて研究をしました。

児童感想
黒川を守るために、生きものに害の少ない洗ざいを使ったり、洗ざいの使いすぎに注意したいと思った。



「三協橋」の名前の由来は、三つの村が協力して造った橋だからという。白川の橋(24) 昭和22年の新学制により新制中学校が創設された。現在の熊本市立東部中学校は、当時、竜田、供合、広畑三ヶ村組合立飽託東部中学校として開校した。

竜田村・供合村・広畑村の三村は、白川をはさんでいたが、当時このあたりには橋がなかった。対岸への行き来は渡し船であったそうである。(藤田勇氏 話)生徒の登下校にも村民の日常生活にも橋の架設は三村の強い願いであった。

架設にあたり、現在の県道337号からはいる「道づくり」などの労働は、声をかけあって三村民あげて参加。当時東部中学校2年生であった龍田の藤田氏もその作業に参加された一人ということであった。崖を開いた跡の土運びなど、中学生も参加したそうである。

昭和23年頃木造の橋が完成し、通学も船に頼ることが無くなったという。しかし、昭和28年の白川大水害で流出。現在の橋は、昭和33年3月完成、その後交通量に伴い歩道も付加されたようである。位置は、熊本市上南部町である。



三協橋左岸上流からみた橋。この上流には一部自然堤防も残り、種々の鳥類の憩いの場になっている。

2006
5/13

春の立野の自然観察と
「ソニーセミコンダクタ九州」見学



水循環を考えた工場見学と水かさを増した立野の白川観察

写真でみる この1年

子ども向け

2006
8/1

わくわくお天気教室



気象台には種々の観測用機器やデータ収集などのパソコン類がありました。

源流探検・黒川

～阿蘇の清流で遊ぼう～

2006
8/10



おもいっきり水と生きものに戯れました。

2006
11/12

白川中流域探検
～白川中流域の自然と文化～



立野の秋の自然を観察したあと
瀬田池之原遺跡で矢じりづくりに挑戦

2006
8/23

夏の星座観察
(城南県民天文台)

あいにくの雨で、星座観察は不可能。夏の星座の話や星の物語を視聴しました。

2006
12/2

白川下流域探検
～下流のまちと浄化センター～



昔の白川の河道に石はねが残っています。

2007
2/17

バードウォッチング



2007
1/20

河川敷で遊ぼう！
紙飛行機づくり



河川敷で精一杯飛ばしました。

2006
12/15

冬の星座観察
(西合志県民天文台)



2006
年度

白川わくわくランド 寺子屋報告

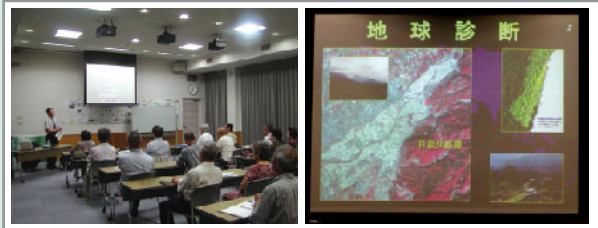
大人向け

白川下流大井手沿いを歩く ～渡鹿堰から井手の口まで～



開催日：2006年4月22日（土）
講師：村上 能治氏（熊本地学会員）
白川、渡鹿堰を取水口として農地の灌漑水路としてつくられた「大井手」。白川から大井手沿いを歩きながら、その周辺の歴史や文化、人と水のかかわりに触れる寺子屋でした。
（詳細は「白川わくわくランドニュース 第24号」に掲載）

わくわく講座 「地球のダイナミズムを知る」



開催日：2006年7月15日（土）
講師：岩下 篤氏（九州東海大学工学部リモートセンシング学科教授）
「防災、減災」をテーマとしたわくわく講座、第1弾は地震に関する講座でした。リモートセンシング技術を用いて、地球の動き（断層の動き、ずれ）を画像としてとらえ、そこから、地球の鼓動や動きについて分かりやすく説明がありました。
（詳細は「白川わくわくランドニュース 第25号」に掲載）

阿蘇の昔話の地を訪ねる



開催日：2006年10月14日（土）
講師：村上 能治氏（熊本地学会員）
多くの伝説や昔話が残り、その舞台となった阿蘇の地を訪ねて、阿蘇の成り立ちに関する話を聞いたり、地形を見ながら歴史や文化にふれたりする寺子屋となりました。
（詳細は「白川わくわくランドニュース 第26号」に掲載）

わくわく講座 「川(水)のもつ力と人との関わり」



開催日：2006年9月16日（土）
講師：金子 好雄氏（九州東海大学工学部都市工学科助教授）
2006年は例年になく大雨、集中豪雨により水害が多発しました。その中で、甚大な被害を受けた鹿児島島の川内川流域の話し、その他、白川でも警戒水位を超えたことなどの話をともに、水のもつ力、恐ろしさ、災害への対策などについての講座でした。
（詳細は「白川わくわくランドニュース 第26号」に掲載）

わくわく講座 「京の水辺づくり」



開催日：2006年11月17日（土）
講師：田中 尚人氏（熊本大学大学院自然科学研究科助教授）
千年の都、「京都」の水辺づくりについての話がありました。先人たちの手によって、人間と自然の距離、バランスの取り方を考えた水辺づくりがなされている事例の紹介の後、京の水辺づくりを現代の水辺づくり、川づくりを活かす方法などについて話がありました。
（詳細は「白川わくわくランドニュース 第27号」に掲載）

白川右岸、山崎町界隈を歩く（予定）



開催日：2007年3月24日（土）
講師：宮本 安之氏（熊本市立熊本博物館 考古学同好会会長）
白川の右岸に位置する「山崎町」は、今から400年ほど前までは左岸にあったといわれています。（白川が大きく蛇行していた為）加藤清正の河川改修によって、旧河道となった跡をたどりながら城下町熊本市の歴史の一端にふれます。

白川わくわくランド寺子屋

「冬の白川バードウォッチング」

あいにくの雨でした。しかし、とても有意義で楽しい寺子屋になりました。

講師の先生方が用意してくださった雨の日にも楽しめるバードウォッチングプログラムは、まず、鳥当てクイズから。身近にいる鳥たちの写真が画面に映し出されて、一緒に鳴き声まで披露され、参加者は喜々としてクイズに挑戦。鳥の特徴や習性などの話も付け加えていただきました。

次は、双眼鏡、望遠鏡を使っての観察会。野外での観察が不自由だったので、白川わくわくランドのベランダからの「定点観察会」になりました。雨模様だったせいか、日頃よく見られるコサギやカイツブリがなかなか姿を見せられなかった反面、イワツバメなどのツバメの種類が餌を求めて空高く飛んだり、川面に沿って飛んだりしていました。講師の先生方は、飛び方や翼の角度、喉元や背中の色などからツバメの種類を判別、わかりやすく説明してくださいました。

参加した子供たちは、ビンゴゲーム形式の観察シートに確認した鳥たちを記入。新しく鳥を見つけた喜びの声を発したいのをぐっとこらえる子供の姿がかわいいものでした。

最後は、コウノトリの折り紙を折り飛ばしプログラム終了。学習のはじめに、講師の先生が言われた「鳥と友達になってください」の言葉は少なからず子供たちの心に留まったと思います。



ちょっと難しい折り方でした。講師の先生や年長の友達に教えてもらって完成。うまく飛びました。



白川わくわくランド2Fからの定点観察。ここからだけでも15種ほどの鳥が観察できました。



スクリーンに映し出される鳥たち。前から横から飛ぶ姿など鮮明な映像は日頃肉眼ではなかなか見られないものでした。

参加者	岩崎 美和 氏	宮崎 謙二 氏	田中 忠 氏	日本野鳥の会	講場	白川わくわくランド	日時	平成十九年二月十七日
-----	---------	---------	--------	--------	----	-----------	----	------------

白川わくわくランド寺子屋
冬の白川バードウォッチング

～子供館周辺で野鳥観察～
バードウォッチング BINGO

ちゅうさ日 年 月 日 ちゅうさほし()

おきな()

くまモン

<バードウォッチング ビンゴシート>

川の豆知識. 12 川の長さ

「白川の長さは74km」という。いったい、川の長さはどこから測るのだろう。河川の管理では、下流（河口）を0kmとして上流に向かって距離を表す。上流は湧き水や池など川の流がはっきりしているところを源流とし、源流がはっきり分らない場合は、「普段、水が流れ始める所」を上流端とするそうだ。白川は、その水源を阿蘇郡高森町の根子岳に発し、黒川・鳥子川・両併川などを支川としている。ちなみに、白川わくわくランド前の白川は、14k400mの地点。



白川河口左岸。白川左岸はここからスタートして測る。



白川左岸河口にある距離表。「距離表・建設省・0k000」と書き込まれた直径5cm程の金属板が堤防に埋め込まれている。